

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ WEEKLY REPORT

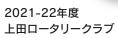
(創立1959年11月12日)

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ

奉仕しようみんなの人生を豊かにするために

R.I.会長 シェカール・メータ 国際ロータリー第2600地区 ガバナー 桑澤 一郎





- ●会長 米津 仁志
- ●副会長 金子 良夫·湯田 勝己
- ●幹事 柳澤 雄次郎
- ●会報委員長 田邉 利江子

第2862回例会 (令和4年3月14日)

《オンライン例会》

米津仁志 会長



[会長挨拶]

みなさん、こんにちは~今日は急に 明るくなり春らしくなってきたように 思います。

ロシアのウクライナ侵攻は依然 として鎮静化する様子が見えず、

悲しい情報が次々と入ってきています。ロシアとウクライナ の経済を調べてみましたのでご紹介いたします。

ロシアの人口は約1億4千万人、GDPは1,710,734百万 USドルですから、日本(5,378,136百万 USドル)の1/3 くらいです。一人当たりのGDPは11,000 USドル程度です。西側各国からの経済制裁により、今年の経済成長率はマイナス15%、インフレ率は20%と予想されています。

一方、ウクライナの人口は約4400万人で、世界で最も人口減少の激しい国の一つだそうです。背景には、チェルノブイリ事故をきっかけとして移民となって国外に人口が流出している問題もありますが、基本的には低い出生率と高い死亡率による自然減が強く影響しています。国連や世界銀行などの分析によると、飲酒、喫煙、肥満、高血圧、エイズのまん延などが高い死亡率の原因とされています。また、GDPは世界56位で164,593百万USドルです。日本の1/30くらいです。これは福岡県または北海道のGDPと同程度です。一人当たりでは3726ドル程度、日本円にして42万円くらいですので大変貧しい国といえます。

長野県の感染状況は一進一退と言ったところです。木曽地域だけが特別警報 $I(\nu \land \nu 4)$ 、上田圏域を含めその他すべての地域が特別警報 $I(\nu \land \nu 5)$ です。以下の情報は私がインターネットから収集したものですので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の10万人当たりの新規感染者数は3月4日~3月10日の一週間の値で、長野県全体は122.65人(118.45人)、上田圏域は115.00人(79.42人)、佐久圏域が103.22人(102.24人)、長野圏域が143.79人(125.96人)、南信州が58.57人(56.64人)、北アルプス圏域110.25人(128.04人)です。木曽圏域は82.43人(7.85人)です。長野県全体として

また悪化に転じました。カッコ内は前週の値です。

全国的には、全国平均で309.26人(363.61人)、大阪447.61人(637.54人)、東京461.30人(573.26人)、沖縄325.55人(381.62人)、石川県230.53人(271.30人)、富山県272.00人(320.28人)です。

一人が何人に感染させるかを示す実効再生産数は、全国平均で1月9日に5.9人でピークを打ち、3月11日には0.95です。この数値が1を切ってから下げ止まっています。長野県は、1月8日に4.62人でピークとなり、3月11日で1.01(前週0.96)です。先週よりも悪化しました。長野県の現在の重症者は3人です。

海外につきましては、3月3日現在の値で、アメリカが77.52人(117.06人)、フランス646.47人(558.82人)、韓国が3885.82人(2520.70人)、イギリスが607.68人(446.00人)、ドイツが1594.23人(1278.20人)、南アフリカ17.53人(19.95人)です。カッコ内は前週の値です。国によってばらつきがありますが、アメリカは改善しています。韓国はかなり悪化しています。札幌医大フロンティア医学研究所のサイトから引用しています。

さて、恒例のドラッカーの『マネジメント』のご紹介です。 本日は「自己目標管理」についてご紹介します。以下は 引用です。

"自己目標管理(MBO: Management by Objectives and Self-control)の最大の利点は、自らの仕事を自らマネジメントできるようになることにある。自己管理が強い動機づけをもたらす。適当にこなすのではなく、最善を尽くす願望を起こさせる。目標を上げさせ、視野を広げる。

自己目標管理の値打ちは、支配によるマネジメントの 代わりに、自己管理によるマネジメントを可能にする ところにある。

自らの仕事ぶりを管理するには、自らの目標を知って いるだけでは十分でない。目標に照らして、自らの仕事 ぶりと成果を評価できなければならない。

したがって、あらゆる分野にわたって、自己評価のための

●例会/毎週月曜日 12:30~13:30 ●会場/ささや=上田市中央2丁目(大門町)

●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711 e-mail: ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp

明確な情報を与える必要がある。それらの情報は数学である必要はない。厳密である必要もない。しかし明瞭でなければならない。意味があり、かつ直截でなければならない。正確さの程度を知りうるだけの信頼性をもつものでなければならない。難しい説明や解釈を必要としない平易なものでなければならない。

あらゆる者が自らの仕事ぶりを測定するための情報を 手にすることが不可欠である。しかも、必要な措置がとれる よう、それらの情報は早く提供しなければならない。

それらの情報は、彼ら自身に伝えるべきであって上司に 伝えるべきではない。情報は、自己管理のためのツール であって、上から管理するためのツールではない。この ことは、情報の収集、分析、統合に関わる技術進歩の結果、 それらの入手能力が急速に増大した今日、特に強調して おく必要がある。"

『マネジメント(中)』

第34章「自己目標管理」p83-85より引用

日本において「自己目標管理」は「目標管理」と誤解して 広まり、大手企業などにおいて、成果主義を導入するための 道具にされてしまいました。故に、みなさまの中には 「目標管理」という言葉に嫌悪感をお持ちになる方もいらっ しゃるかもしれません。

ドラッカーもいい迷惑だったと思います。ご紹介した 上田先生の文章にわざわざ原語が添えられています。

MBO: Management by Objectives and Self-control ⇒自己規律による目標管理

まず、ドラッカーがMBOを考えた背景です。それ以前の企業では、上司の言うとおりに仕事をするのが当たり前であり、仕事の目標に自分の考えを入れることは出来ませんでした。半分ジョークではありますが、MBOが発明される前の言葉としてMBB: Management by Boss (上司による管理)というものがあります。

次に、日本にMBOが紹介されたときの問題です。 "Management by Objectives"の後に、"and Self-control" とはっきり書かれているのですが、それが抜け落ちてしまい ました。『マネジメント』をよく読まなかったのですね。 「自己」がなくなり、ただの「目標管理」になってしまいました。 「自己目標管理」は文字通り、組織の目標を元にして、自分で 自分の目標を決める方法です。

当時、欧米のように成果主義を導入して、コスト削減をしたいと思っていた企業が、「目標管理」を自社に都合の良いように解釈しました。そして、部下の仕事もよく分かっていない上司が無理な目標を課し、その結果をもって、降格したり、降給したりという、裏でやりたいと思っていたことを、権力によって表で堂々と実行するようになったのです。

本来目標は自分で決めるべきものですし、ここに書かれていますように、それに必要な情報をすべて、上司ではなくて、本人に与えなくてはならなかったのです。誤った「目標管理」により、パワハラなどさまざまな問題が発生しました。これによる犠牲は大きかったと思います。

本日はありがとうございました。みなさまどうぞご自愛ください。

[会員卓話]

小林浩太郎さん

●テーマ

どうする!?どうなる!? 上田と真田

●自己紹介

- ■1970年(昭和45年) 11月2日生まれ 51歳
- ■さそり座・A型
- ■1988年 上田高校 卒業
- ■1992年 専門学校東京スクールオブビジネス 卒業
- ■同年 旭シンクロテック 入社■1995年 中部陸運株式会社 入社
- 2008年 代表取締役就任

●なぜこんな髪型に!?!?





【殺陣】

- ■殺陣(たて)は、演劇・映画・テレビドラマで俳優が格闘 シーン時に素手素足もしくは武器を用いた演技
 - 古くは歌舞伎の「立ち回り」が由来と言われる(諸説あり)
- ■上田と言えば真田!戦国時代を表現するにあたり、戦、 殺陣は必須と考え、上田で殺陣を披露できるようにしたい と考えた
- ■2010年代前半、「歴女ブーム」「城ブーム」「戦国BASARA」等、 歴史をモチーフにしたムーブメントが発生、合わせて NHK大河ドラマ「真田丸」が2016年に放映。
- ■上田を盛り上げるために殺陣を用いる。

【上田真田まつり】

- ■1980年 中央商店街主催で始まる
 - ●当時は武者行列がメインイベントであった
- ■2007年 真田軍VS徳川軍決戦劇が開始される
 - ●上田青年会議所の発案
 - ●当時の実行委員会では大反対にあった!?
 - ●決戦劇参加者集めに留学生に声をかける
- ■2010年 真田幸村コンテスト
 - ●上田中央一番街主催
 - ●優勝者は真田幸村になれる、決戦劇の主役になる
 - ■県内外から多数の応募がある

【決戦劇の効果】

- ■県外からの参加が多数
 - 約2か月間、毎週土曜日に稽古を行う

- ■県外からの宿泊者、多数
- ●地元よりも県外から上田・真田に愛を持つ人が多い ことに気付く

■稽古を通じて生まれる絆

- ●上田への移住者が発生する
- ●SNSを通じて上田の魅力を発信してくれる
- ●結果、決戦劇を見たくて上田に訪れる観光客が発生





【殺陣サークルの活動】

- ■殺陣サークル眞 2022年発足 初代代表 小林浩太郎
- ■上田真田まつり決戦劇の参加者が「もっと上田で殺陣を したい」「殺陣で上田を盛り上げたい」と言う思いから サークル化
- ■7割が女性、8割が県外からの参加
- ■「刀を通じて和の心を学び、刀を通じて信州上田を盛り上げる」がコンセプト
- ■上田真田まつり以外にもイベント参加をお願いされるようになる
 - ●新潟県上越市 謙信公祭
 - ■岐阜県関ケ原町 関が原交流ひろばイベント「ファイナル」
 - ●大阪市天王寺 安井神社 幸村公慰霊祭
- ■現在は2代目の代表に活動を委ねております

【殺陣サークルの活動を通じて】

- ■戦国武将、と言う歴史と地域に根付いたものに触れることにより、地域愛を感じることができた。
 - サークルを通じて上田に移住する人が出てきた。
- ■その地域愛は、地元民よりも地域外から感じることができた

《特に上田の場合》

例:「この辺は何にもないよね」

→「めちゃめちゃあるじゃん!」

「美味しいもの?ないない(笑)」

→ 「焼き鳥、蕎麦、とんかつ、いっぱいあるのに……」 「上田城? どこがいいの?」

「上田城の歴史を知らないの?すごいのに!」

■上田とつながっている地域がまだまだあることを感じられた 関が原→第2次上田合戦により徳川秀忠の軍を遅らせた 大阪・安井神社 幸村公終焉の地、大阪には上田リス ペクトが根付いていた。

●ここからが本題です

あくまでも個人的主観に基づくお話です。

【大河ドラマ「真田丸」から5年たって】

- ■今の学生は、ドラマを知らない人がいます。それだけ 歳月は経っています。
- ■当時あれだけ真田に対して熱い思いを発信しても、今は

すでに真田幸村を知らない世代まで現れてきています。

- ■コロナ禍により、上田を訪れる人が激減。発進する機会を 失っています。
- ■むしろ上田市民は、県外ナンバーの車が来ると、石を 投げます

行政!何やってんの!!! いやいや、違うでしょ……

【その結果、今の上田は】

- ■大河ドラマに頼りすぎた余り、次の展開を考えられず、 取り残される
 - ■これを大河ドラマ誘致の失敗と言う人もいる
- ■観光による市民おもてなしの醸成が成しえなかった ため、コロナ禍で県外者への誹謗が始まる。
 - ●移住推進の今のご時世と逆行している
- ■そろそろ上田市会議員も定数割れを起こすかもしれない
 - ●他地域ではすでに始まっている、選挙離れの加速
- ■若者、馬鹿者、よそ者が上田の魅力を発信しても、共感 しない地元民
 - ●上田市民、自ら行動しなければ!
- ■行政任せにしていませんか?
- ■地域愛を発信することを恥ずかしがっていませんか?
- ■自分だけのものにしていたい、と思っていませんか?
- ■福沢諭吉 「国を支えて国を頼らず」

【勝手に上田再生計画】

- ■真田氏を生んだ強い上田のブランディング
 - ●最優先として「上田」と「真田」を強く結びつける
 - ●上田にはほかにも素晴らしい人がいる!と言う意見を まずは置いておく
 - ●だって、県外の人は上田は真田しか知らないから
 - ●上田に訪れてもらうこと、知ってもらうことを最優先に
 - 5年前の大河ドラマは、すでに過去のもの。利用価値はありません。

【シン・真田ブランディング】

- ■上田城の魅力を掘り起こそう
 - ●SNSを活用。上田城の「映えスポット」を作り上げる
 - ●アクティビティを増やす。忍者は子供向け、では大人は?
 - ●上田城展望ラウンジの設置。城主になった気分でおとな時間をすごそう
 - ●上田城だけで、そんなに満足できるようになるの? なりません

【地域の魅力再発掘】

■真田関連・幕末関連の上田の有名人の魅力を作り上げよう ディズニーランド思考。ミッキーを軸にしていろんな キャラクターをピックアップし、飽きさせない場所を 作れる。

■おもてなしの醸成

- ■ボランティアガイド、シャッターマンなど、ちょっと ハードル高いから
- ●誰でも一言添えるだけで、それは「おもてなし」
- ●地元民と触れ合える喜び造り

- ●まだやれることはあります!
- ●上田を支えて、上田を頼らず
- ■まだまだ間に合う上田の魅力発信
- ■企業とコラボして、シン・上田ブランドを作り上げる
- ■行政は黙って見てて、そっと手を添えてもらう
- ■お金が付いて回る企画で地域再生
- ■よそ者・わか者・バカ者の意見に耳を傾けよう

ご清聴ありがとうございました

[幹事報告]

柳澤雄次郎 幹事

- 1. R I 日本事務局 財団室ニュース2022年号外
- 地区事務所 ウクライナ侵攻に対する支援に ついて(その1)



- 3. R I 第2600地区ローターアクト国際ロータリー第2600地区ローターアクト「2021-2022年度第45回地区年次大会」のご案内
- 4. 豊かな土壌づくり上小地域会議 令和4年度豊かな土壌づくり上小地域会議表彰に係る 表彰候補者の推薦について(依頼)
- 5. 例会変更

東御RC 3月17日(木)

コロナウイルス感染防止の為休会

3月24日(木)

祝日週の為休会 定受なし

上田六文銭RC 3月15日(火) オンライン例会

3月22日(火)·19日(火)

感染警戒レベル5以上オンライン

例会 定受なし

小諸浅間RC 3月15日(火)・29日(火)

コロナウイルス感染防止の為休会

3月22日(火)

祝日週の為休会 定受なし

小諸RC 3月16日(水)

コロナウイルス感染防止の為休会

3月23日(水) オンライン例会

3月30日(水)

定款による休会 定受なし

[= = = = BOX]

櫻井雅文 委員長

飯島幸宏さん 石井港人さん 石森 周一さん 伊藤典夫さん 窪田秀徳 さん 桑原茂実さん 小林俊明さん 酒巻弘さん 田中健一さん 土屋勝浩 さん 成澤厚さん 丸山正一さん



三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん 湯田勝己 さん 米津仁志さん 小林浩太郎さん 滋野真さん

> 本日喜投額 19名 ¥ 27,000 累 計 ¥1,335,500

[例会の記録]

司 会: 関 宇陽 委員長

斉 唱:ロータリーソング「それでこそロータリー」

- ●会長挨拶
- 幹事報告
- ●新入会員卓話 小林 浩太郎さん

「ラッキー賞]

田中健一さん(柳澤雄次郎さんから、ラムレーズン入り羊羹) 小林俊明さん(柳澤雄次郎さんから、ラムレーズン入り羊羹)





[出席報告]

関 宇陽 委員長



	本日	前々回 (2/28)
会 員 数	59	60
出席ベース	50	50
出席者数	46	38
出席免除(b) ()内は出席者数	11(2)	11(1)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ()内はMake up 後		0(38)
出 席 率	コロナ禍の為 100	コロナ禍の為 100

[次回例会予定]

4月4日(月) 慶祝

会員卓話 伊藤典夫 国際奉仕委員長

(3月28日発行)

【会報担当】 小林俊明 委員

上田・丸子ロータリークラブ 合同ホームコンペ

令和4年3月13日日

上田丸子グランヴィリオゴルフクラブにて

開催しました

参加者:11名



